Creative Enzymes®

ネイティブ微生物プリンヌクレオシドホスホリラーゼ

Cat. No. DIA-216

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、プリンヌクレオシドホスホリラーゼ（EC 2.4.2.1）は、次の化学反□を触媒する酵素です：プリンヌクレオシド + リン酸 ↔ プリン + α-D-リボース 1-リン酸。したがって、この酵素の二つの基質はプリンヌクレオシドとリン酸であり、二つの生成物はプリンとα-D-リボース 1-リン酸です。この酵素は、糖転移酵素のファミリーに属し、特にペントシル転移酵素に分類されます。
用途	この酵素は、キサンチンオキシダーゼおよびウリカーゼと結合した際に、無機リン、5'-ヌクレオチダーゼおよびアデノシンデアミナーゼの酵素的測定に有用です。
別名	EC 2.4.2.1; イノシンホスホリラーゼ; PNPase; PUNPI; PUNPII; イノシン-グアノシンホスホリラーゼ; ヌクレオチドホスファターゼ; プリンデオキシヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンデオキシリボヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンリボヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンヌクレオシド: リン酸リボシルトランスフェラーゼ

製品情報

由来	微生物
外□	白色の非晶質粉末、凍結乾燥された
EC番号	EC 2.4.2.1
CAS登□番号	9030-21-1
分子量	approx. 120 kDa
活性	グレードⅢ 15U/mg-固体以上
混入物	カタラーゼ < 20% 5'-ヌクレオシダーゼ < 1.0×10⁻³% アデノシンデアミナーゼ < 1.0×10⁻³% ATPアーゼ < 1.0×10⁻²%
等電点	4.1±0.1
pH安定性	pH 6.0-9.0 (30°C, 16時間)
最適pH	7.5-8.0
熱安定性	60°C未□（pH 7.7、30分）
最適温度	65°C
ミカエリス定数	6.4×10⁻⁵M（イノシン）、3.2×10⁻⁴M（ピロリン酸）
阻害剤	p-クロロ水銀ベンゾエート, SDS, Hg^{++}, Ag^{+}
安定化剤	K-グルコン酸塩、マニトール、EDTA

保管・発送情報

安定性	-20°Cで少なくとも12ヶ月間安定しています